



2020年 1月26日
第82号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



横浜地本の仲間の皆さん 18春闘の責任からの逃亡を許さない 横浜地本は逃げません！



「どうやら東労組は分裂するらしい」という噂を耳にして、不安になっている横浜地本の仲間のみなさんもいらっしゃると思います。不安にさせてしまい、本当に申し訳ありません。東京・水戸・八王子の3地本の一部指導部が嘘と誤魔化して18春闘の責任から逃亡する準備をしているという情報が確かにあります。

しかし、横浜地本は18春闘大敗北の反省から職場の組合員の声をもとに職場から組合員に寄り添った運動をつくり出すということにこだわってきました。その結果、パワハラを跳ねのけてこれからも東労組の組合員として歩いていくことを決意してくれた仲間や、一度は東労組を去ったものの、改めて東労組の必要性を感じ勇気を出して再加入してくれた仲間など、組織強化・拡大を実現してきました。

それでもまだ新生 JR 東労組は労働組合として信頼を回復する道半ばであり、厳しい道を歩いていることも確かです。こんな今だからこそ東労組の旗のもとに集い、仲間と共に私たちが安心して働ける職場、社会をつくるための運動をつくり出すことが必要なのです。

いま、東労組から逃亡しようとしている東京・水戸・八王子の3地本の一部指導部は、18春闘の大敗北総括に立てず、この間ずっと本部方針にも従わず、会社や本部の批判、また第三者機関の活用だけを声高に繰り返し、東労組内に混乱をもたらしてきました。

今回の逃亡策動は、東労組内に混乱をもたらしてきた3地本の一部指導部が、東労組の資金を自分たちの思い通りにできないことや東京地本の使途不明金が表立ってしまい、我慢の限界がきたためです。その自らの体裁を保つための逃亡に、3地本の各職場の真面目な組合員を巻き込もうとしているのです。

横浜地本の皆さん、新生 JR 東労組運動をつくり出せない3地本の一部指導部の逃亡に動揺しないでください。今まで通り、共に横浜地本から東労組運動を進めていきましょう。**横浜地本は会社と健全な労使関係で団体交渉も進めています。**横浜地本、支部、分会は組合員一人一人に寄り添っていきます。不安や悩みは相談してください。そして、ぜひ3地本に所属する悩んでいる組合員にも真実と東労組組合員として一緒に歩いていこうという思いを伝えてください。

**横浜地本は組合員の生活を守るために正常な労使関係の中で
団体交渉など会社との交渉に真摯に取り組んでいます。**

**不安は分会・支部・地本に相談してください。
横浜地本の仲間がいます！**

